

教育ビジョン・こども計画策定に係るアンケートの結果

1 概要

(1) 目的

第3期吹田市教育ビジョン及び吹田市こども計画の策定にあたり、子供や保護者などがどのように考えているか全体的な傾向を把握し、市の取組の参考とするため。

(2) 調査対象

吹田市民

(3) 調査方法

インターネット

(4) 調査期間

令和6年(2024年)4月23日から令和6年(2024年)5月31日まで

(5) 回答数

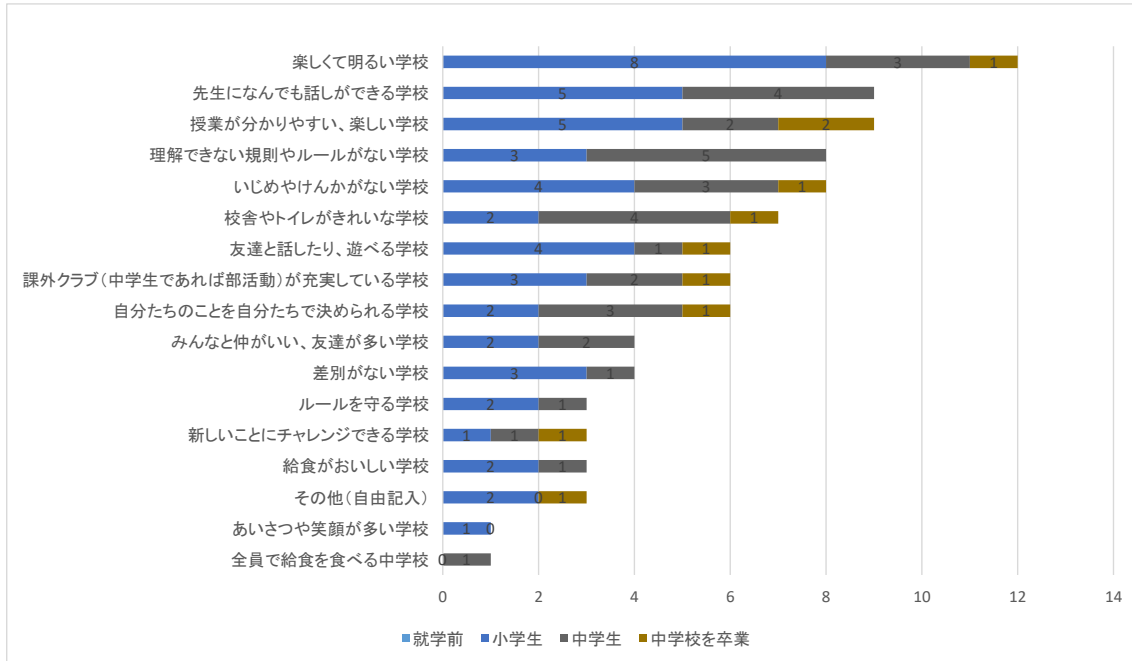
子供	小学校就学前	0人
	小学生	15人
	中学生	6人
	中学校を卒業している	3人
	計	24人
大人	就学前の子供の保護者	58人
	小学生の保護者	79人
	中学生の保護者	28人
	子供はすでに中学校を卒業している	29人
	子供はいない	5人
	その他	10人
計		209人
合計		233人

2 調査結果

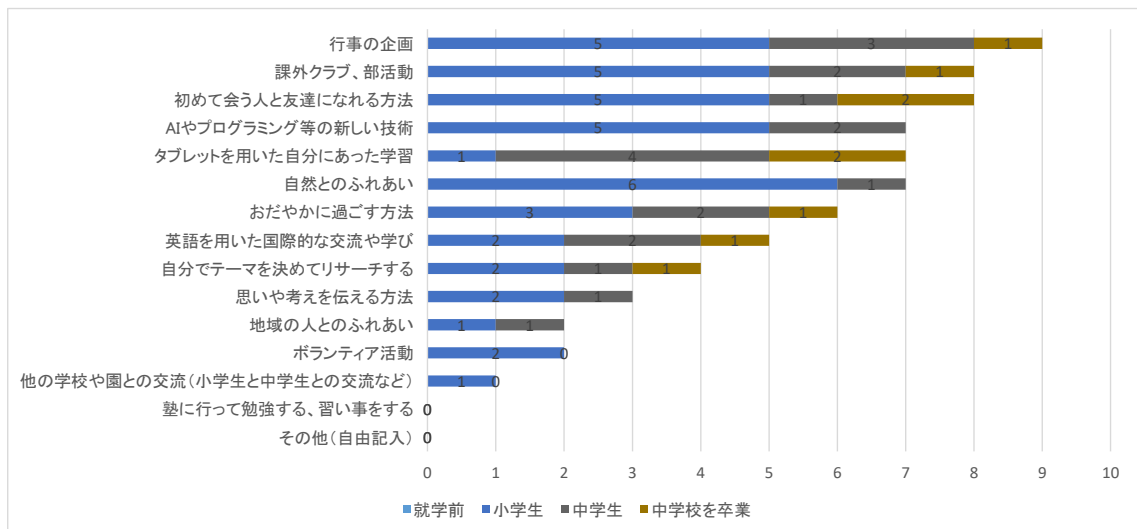
(1) 子供の調査結果

あなたが通いたい学校はどのような学校ですか、中学校を卒業している人には、あなたが通いたかった小・中学校はどのような学校ですかとたずねたところ(複数回答)、「楽しくて明るい学校」と回答した人は12人で、次いで「授業が分かりやすい、楽しい学校」(9人)、「先生になんでも話しができる学校」(9人)となっています。小学生では、「楽しくて明るい学校」(8人)が最も多く、中学生では「理解できない規則やルールがない学校」(5人)、中学校を卒業している人では「授業が分かりやすい、楽しい学校」(2人)となっています。

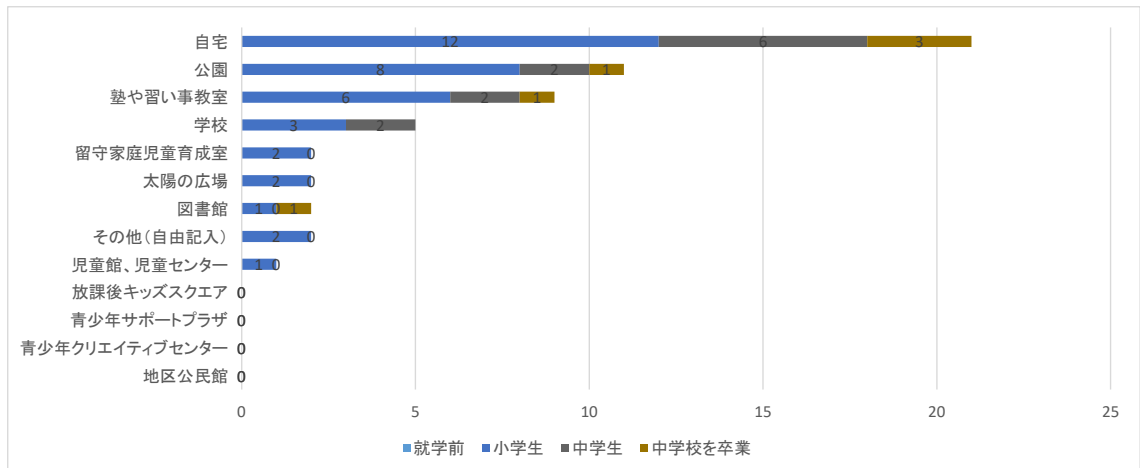
その他(自由記入)の主な回答としては、「自分の興味のあることができる学校」となっています。



あなたが学びたいことや体験したいことは何ですか、中学校を卒業している人には、あなたが小・中学生のときに学びたかったことや体験したかったことは何ですかとたずねたところ(複数回答)、「行事の企画」と回答した人は9人で、次いで「課外クラブ、部活動」(8人)、「初めて会う人と友達になれる方法」(8人)となっています。小学生では、「自然とのふれあい」(6人)が最も多く、中学生では「タブレットを用いた自分にあった学習」(4人)、中学校を卒業している人では「初めて会う人と友達になれる方法」(2人)、「タブレットを用いた自分にあった学習」(2人)となっています。

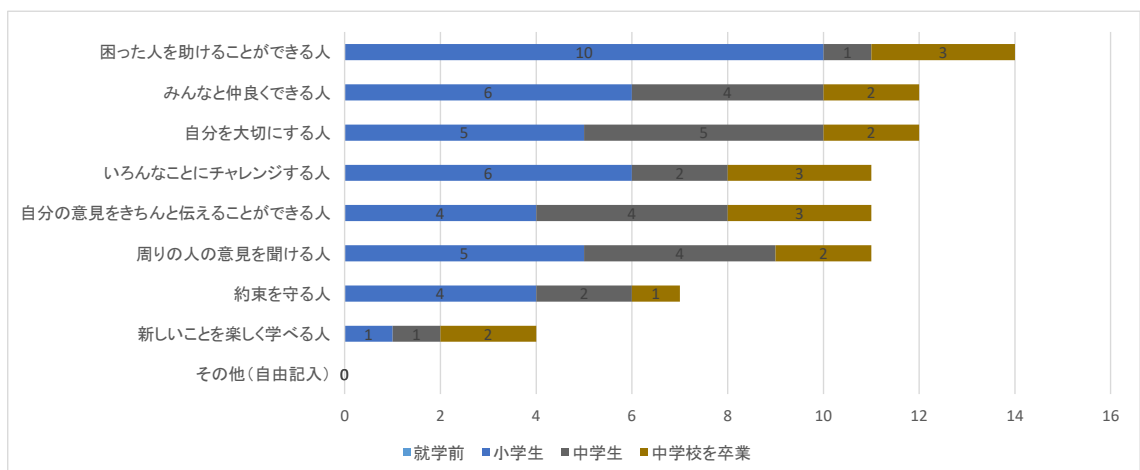


あなたは放課後はどこで過ごすことが多いですか、中学校を卒業している人には、あなたは小・中学生のとき放課後はどこで過ごすことが多かったですかとたずねたところ(複数回答)、「自宅」と回答した人は21人で、次いで、「公園」(11人)、「塾や習い事教室」(9人)となっており、小学生、中学生、中学校を卒業している人においても、同じ順位となっています。その他(自由記入)の回答としては、「友達の家」となっています。



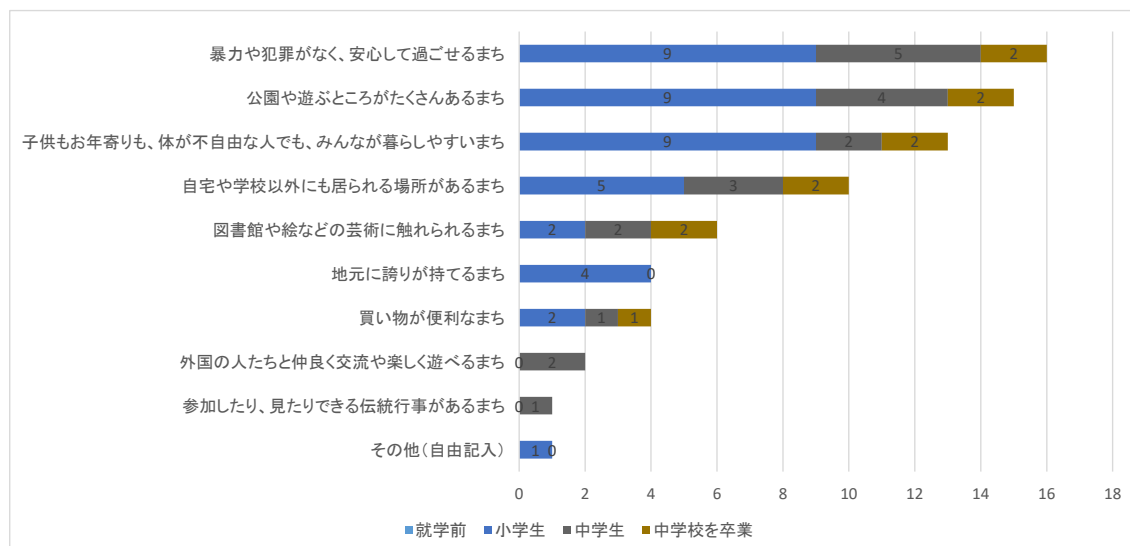
放課後はどこで何をして過ごしたいですか、中学校を卒業している人には、小・中学生のとき放課後はどこで何をして過ごしたかったですかとたずねたところ（自由記入）、「自宅でゆっくり過ごす」、「公園等で遊ぶ」、「友達と遊ぶ」などの回答がありました。

あなたはどんな大人になりたいですか、中学校を卒業している人には、あなたは小・中学生のときどんな大人になりたいかったですかとたずねたところ（複数回答）、「困った人を助けることができる人」と回答した人は14人で、次いで「みんなと仲良くできる人」（12人）、「自分を大切にできる人」（12人）となっています。小学生では、「困った人を助けることができる人」（10人）が最も多く、中学生では「自分を大切にできる人」（5人）、中学校を卒業している人では「困った人を助けることができる人」（3人）、「いろんなことにチャレンジする人」（3人）、「自分の意見をきちんと伝えることができる人」（3人）となっています。

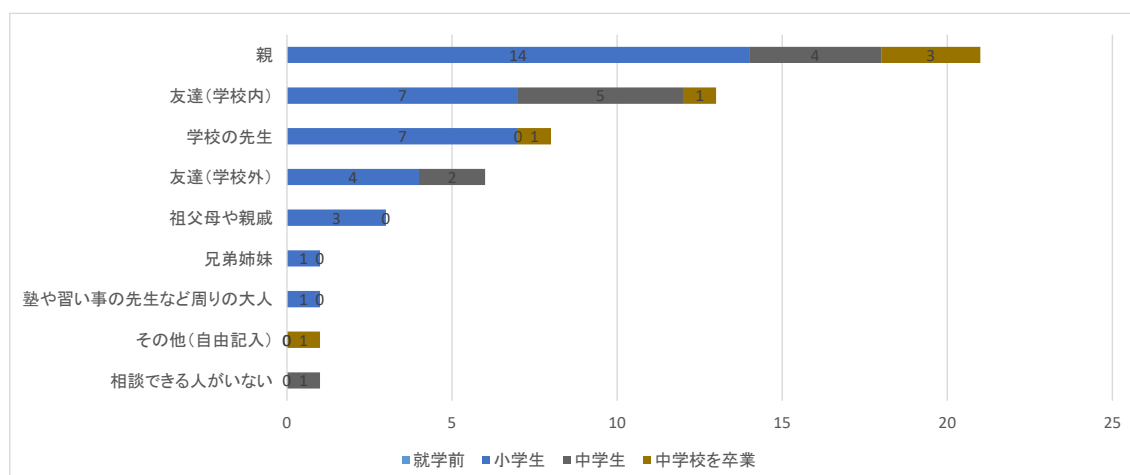


あなたは今住んでいるまちをどのようなまちにしたい(していきたい)ですか、中学校を卒業している人に対しては、あなたは小・中学生のとき今住んでいるまちをどのようなまちにしたかった(したい、していきたい)と思っていましたかとたずねたところ（複数回答）、「暴力や犯罪がなく、安心して過ごせるまち」と回答した人は16人で、次いで「公園や遊ぶところがたくさんあるまち」（15人）となっています。小学生では、「暴力や犯罪がなく、

安心して過ごせるまち」(9人)、「公園や遊ぶところがたくさんあるまち」(9人)、「子供もお年寄りも、体が不自由な人でも、みんなが暮らしやすいまち」(9人)が最も多く、中学生では「暴力や犯罪がなく、安心して過ごせるまち」(5人)、中学校を卒業している人では「暴力や犯罪がなく、安心して過ごせるまち」(2人)、「公園や遊ぶところがたくさんあるまち」(2人)、「子供もお年寄りも、体が不自由な人でも、みんなが暮らしやすいまち」(2人)、「自宅や学校以外にも居られる場所があるまち」(2人)、「図書館や絵などの芸術に触れられるまち」(2人)となっています。

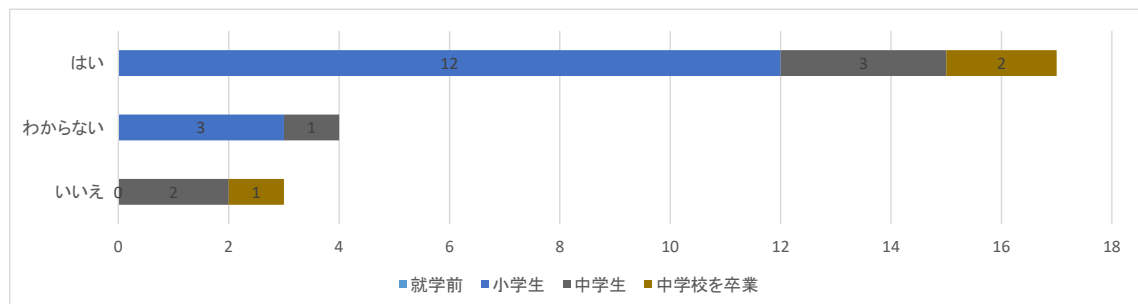


あなたは困ったことがあったら誰に相談しますか、中学校を卒業している人には、あなたは小・中学生のとき困ったことがあったら誰に相談していましたかとたずねたところ(複数回答)、「親」と回答した人は21人で、次いで「友達(学校内)」(13人)となっています。小学生では、「親」(14人)が最も多く、中学生では「友達(学校内)」(5人)、中学校を卒業している人では「親」(3人)となっています。



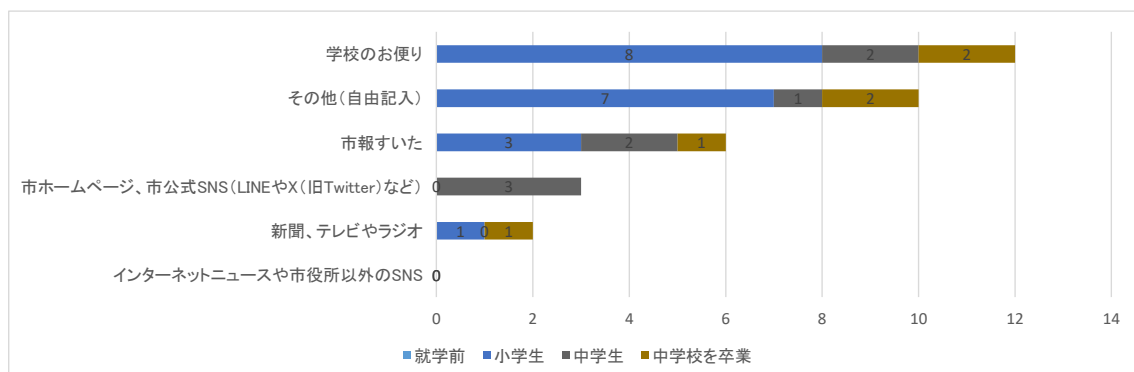
学校や地域、市役所など様々な人たちが小・中学生のみなさんの生活を良くするため、いろいろな取組や仕組みを考えたりしていますが、知っていますか、中学校を卒業している人には、学校や地域、市役所など様々な人たちが小・中学生のみなさんの生活を良くするため、

いろいろな取組や仕組みを考えたりしていますが知っていましたかとたずねたところ、「はい」と回答した人は17人、「わからない」と回答して人は4人、「いいえ」と回答した人は3人となっています。



上記について、どのような方法や手段で知りましたか。もしくはどのような方法や手段であれば知ることができると考えますか、中学校を卒業している人には、上記について、どのような方法や手段で知りましたか。もしくはどのような方法や手段であれば知ることができたと考えますかとたずねたところ（複数回答）、「学校のお便り」と回答した人は12人で、次いで「その他（自由記入）」（10人）となっています。小学生では、「学校のお便り」（8人）が最も多く、中学生では「市ホームページ、市公式SNS（LINEやX（旧Twitter）など）」（3人）、中学校を卒業している人では「学校のお便り」（2人）、「その他（自由記入）」（2人）となっています。

その他（自由記入）の主な回答としては、「毎朝地域の人が見守ってくれているのを見ているから」、「学校で紹介されて知った」、「社会科見学、校外学習」となっています。



どのような方法や手段があれば、あなたは市役所に対して意見を伝えやすいですかとたずねたところ（自由記入）、「インターネットでのアンケートの実施」、「学校の端末を利用する」、「学校の授業で話し合う時間があつたらいい」、「学校に来てもらって話をしたり聞いたりする」、「手紙を出す」、「施設に意見箱を設置する」、「サイト内にご意見フォームみたいなものがあつたら伝えやすい」、「伝える機会がある事をみんなが知ったら伝えやすくなる」などの回答がありました。

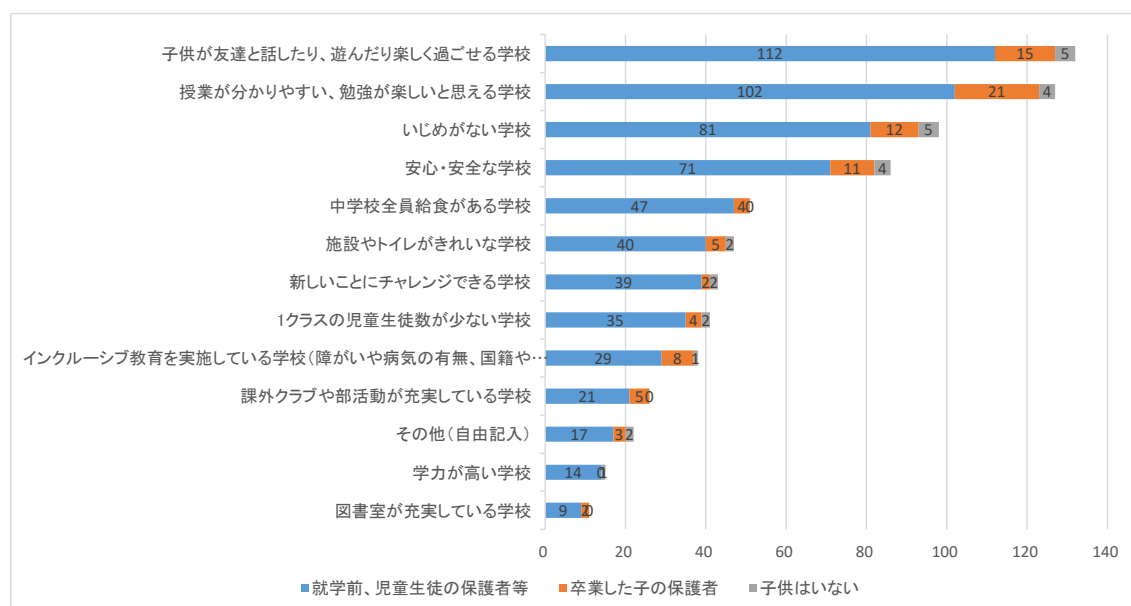
学校や市役所に言いたいことがあれば書いてくださいと意見を求めたところ（自由記入）、施設に関すること（学校のトイレ、洋式への変更）、学校運営に関すること（タブレット、

課外クラブの種類、クラス替えなど)、給食(中学校給食を含む)、子供の居場所に関すること(遊び場、学びの森等)や、「子供の気持ちを理解してほしい」、「路線バスを利用するので交通費を補助してほしい」などの回答がありました。

(2) 大人の調査結果

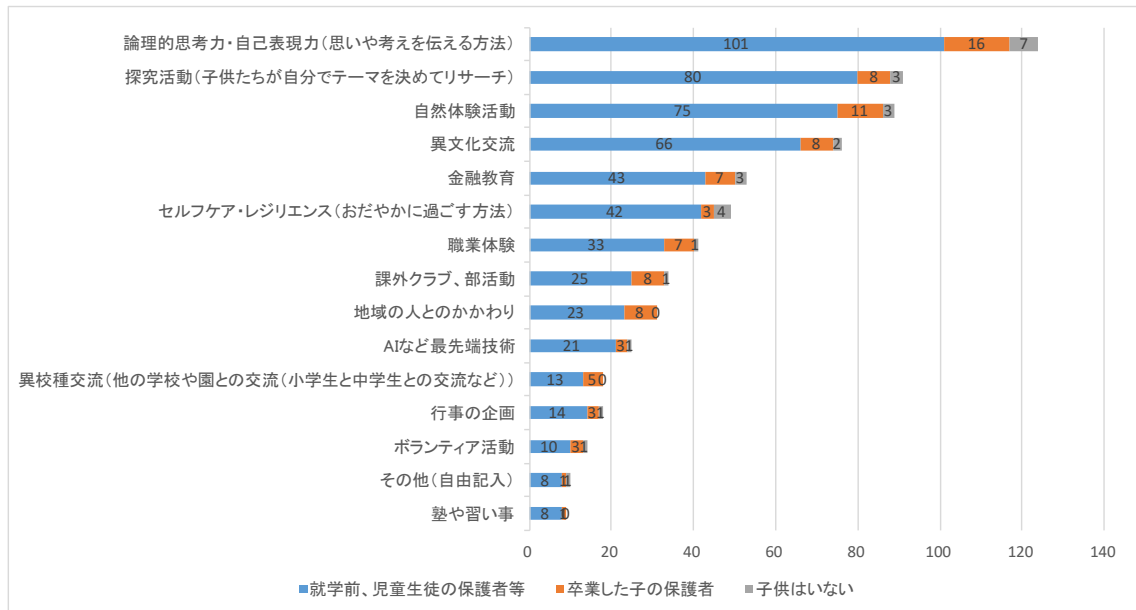
就学前から中学 3 年生までの子供の保護者及び子供がいない大人(地域の子供に対しての考えまたは自身に子供がいたとしたらという仮定で回答)に対して、子供を通わせたいのはどのような学校ですか、子供はすでに中学校を卒業していると回答した保護者には、子供を通わせたいのはどのような小・中学校でしたかとたずねたところ(複数回答)、「子供が友達と話したり、遊んだり楽しく過ごせる学校」と回答した人は 132 人で、次いで「授業が分かりやすい、勉強が楽しいと思える学校」(127 人)、「いじめがない学校」(98 人)となっています。

その他(自由記入)の主な回答としては、「子供が主体的に学べる学校」、「子供の権利が守られる学校」、「子供たちが悩みを相談しやすい学校」、「先生が子供たちに向き合う余裕のある学校」などとなっています。



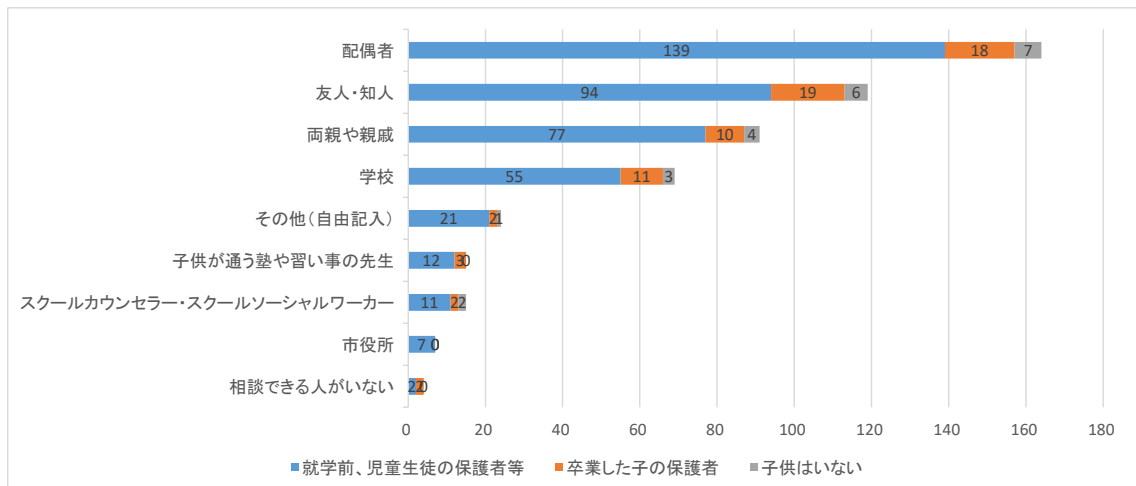
子供に学ばせたいことや体験させたいことは何ですか、子供はすでに中学校を卒業していると回答した保護者には、子供が小・中学生のときに学ばせたいことや体験させたいことは何でしたかとたずねたところ(複数回答)、「論理的思考力・自己表現力(思いや考えを伝える方法)」と回答した人は 124 人で、次いで「探究活動(子供たちが自分でテーマを決めてリサーチ)」(91 人)、「自然体験活動」(89 人)となっています。

その他(自由記入)の主な回答としては、「自分たちで主体的に考え、行動する」、「音楽や芸術など 豊かな文化に触れる」、「考え方の違う他者との関わり方」、「日常の現象を身近に感じやすいように実験などの体験」などとなっています。



子育てや子供の学校での生活で周りの人に助けてほしいことがあったときは誰に相談していますか、子供はすでに中学校を卒業していると回答した保護者には、子育てや子供の学校での生活で周りの人に助けてほしいことがあったときは誰に相談していましたかとたずねたところ（複数回答）、「配偶者」と回答した人は 164 人で、次いで「友人・知人」（119 人）、「両親や親戚」（91 人）となっています。

その他（自由記入）の主な回答としては、「担任、保育園や幼稚園の先生」、「スクールカウンセラー」、「こども発達支援センター」、「教育センター」、「YouTube などを参考にする」などとなっています。

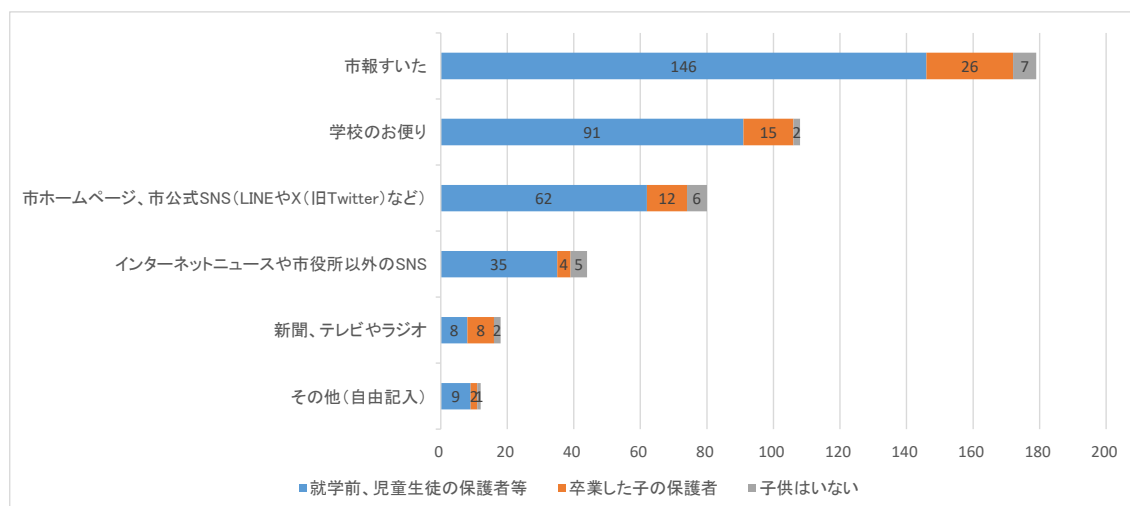


相談できる人がいないと選んだ人はどういう人や場所があったら相談しやすいですかとたずねたところ（自由記入）、「相談のハードルを低くする」、「専門家ではなく日常の中で気軽に相談できる環境を作る」といった回答がありました。

市役所では、子供たちの学校生活をより良くするため、いろいろな制度や政策に取り組ん

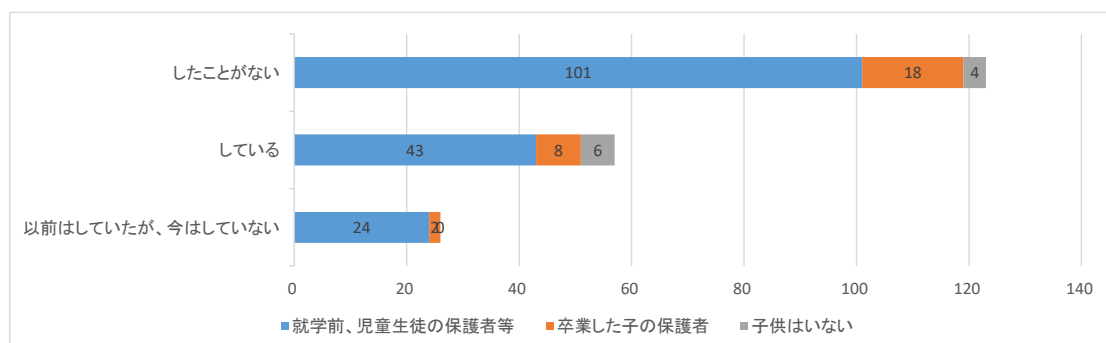
でいます。あなたは、普段どのようにその情報を得ていますかとたずねたところ（複数回答）、「市報すいた」と回答した人は 179 人で、次いで「学校のお便り」（108 人）、「市ホームページ、市公式 SNS（LINE や X（旧 Twitter）など）」（80 人）となっています。

その他（自由記入）の主な回答としては、「あまり伝わってこない」、「友人や知人」、「地域の各団体の方」などとなっています。



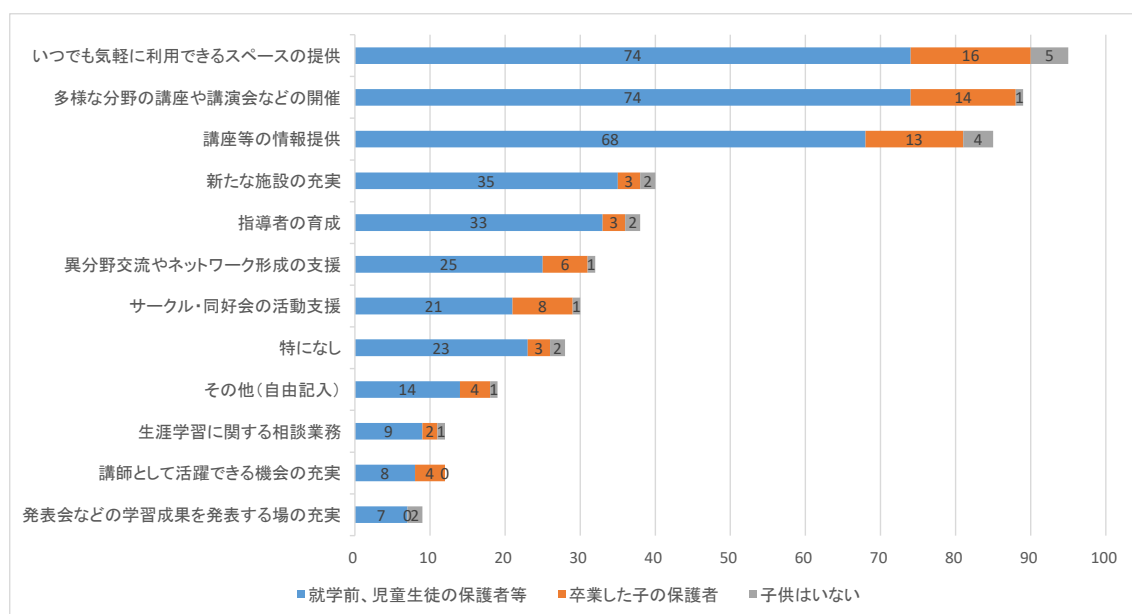
どのような方法や手段があれば、あなたは市役所に対して意見を伝えやすいですかとたずねたところ（自由記入）、LINE 等 SNS の活用に関すること（LINE 等の SNS でのアンケート実施、アプリや LINE など気軽に意見を送信できる仕組み、チャット bot による相談窓口など）、学校によるもの（学校からアンケート用紙の配布、さくら連絡網の活用）、窓口に関すること（専用の窓口の設置、電話対応時間の延長及び土日の対応）、対面によるもの（意見交換会、ヒアリング）などとなっています。

現在、生涯学習活動をしていますか。または、したことがありますかとたずねたところ、「したことがない」と回答した人は 123 人で、次いで「している」（57 人）、「以前はしていたが、今はしていない」（26 人）となっています。



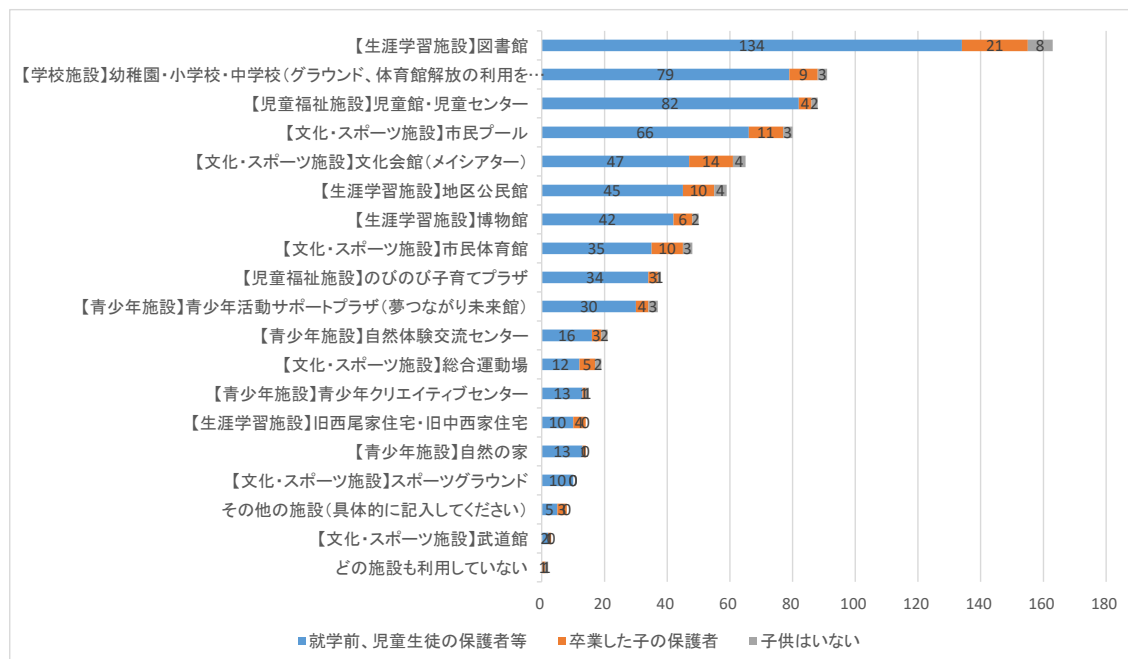
生涯学習に対して、今後、市役所がさらに力を入れて取り組むべきだと思うことはありますかとたずねたところ（複数回答）、「いつでも気軽に利用できるスペースの提供」と回答した人は 95 人で、次いで「多様な分野の講座や講演会などの開催」（89 人）、「講座等の情報提供」（85 人）となっています。

その他（自由記入）の主な回答としては、講座に関すること（土日に子供と一緒に参加、講座の充実、利用者の希望に沿った講座の提供など）、施設に関すること（図書館の充実、自習室などのスペースの充実）、助成・報酬に関すること（習い事費用の助成、生涯学習を通して得た経験や知識を活かす場所の提供及び報酬を支払う仕組み）や行政に対する要望に関すること（地域のつながりが深まるような場所や機会づくりになる場の提供）などとなっています。



子育て、青少年、教育施設など市の施設を利用したことはありますか（過去 3 年間で利用したことがあるものすべて）とたずねたところ（複数回答）、「図書館」と回答した人は 163 人で、次いで「幼稚園・小学校・中学校（グラウンド、体育館解放の利用を含む）」（91 人）、「児童館・児童センター」（88 人）となっています。

その他の施設の主な回答としては、「勤労者会館」、「市民公益活動センター」、「男女共同参画センター」などとなっています。



学校、市の施設や市役所に伝えたいことがありましたら記入してくださいと意見を求めたところ（自由記入）、以下のような回答がありました。

施設に関すること	老朽化対策、備品の更新、予約方法、公園遊具の更新、ボール遊びができる公園の設置、ゆっくり勉強のできるスペースの設置、スポーツ施設の充実など
イベントや講座に関すること	共働き世帯でも参加しやすい時間等での開講、未就学児のための施設見学など
保育園や幼稚園に関すること	待機児童の解消、第一子からの利用料無料など
学校及び学校施設に関すること	トイレの改修、少人数学級、複数担任制、小学校給食の無償化、中学校給食の全員給食、教員の過重労働の解消、部活動、不登校対策の強化、さくら連絡網の活用など
市に対すること	子育て政策の充実、教育に係る予算の増額、相談窓口など